

平成 26 年度都道府県 IYEO 役員研修の目的と基本方針

「社会でリーダーシップを発揮できる人材育成を目指して」

現代のグローバル社会においては、幅広い視野を持って変化に対応した新しい取組を考え、実行できる人材が必要とされている。このような社会のニーズに応えるため内閣府青年国際交流事業で培われた青年育成のノウハウと日本青年国際交流機構で築き上げたネットワークをいかした人材育成に取り組む。

1. 青年層活性化の基盤づくりに取り組もう

青年の社会活動へのニーズを把握して、青年の活動の場作りと環境整備に取り組むべく、国に対して青年施策についての提言を積極的に行う。同時に、自団体の活動内容を見直すとともに他団体との連携に取り組み、青年層の活性化を図って、青年による社会の活性化を目指す。

2. 地域社会に貢献できる人材育成に取り組もう

地域における国際交流活動を積極的に行い、地域と世界の距離を狭めるとともに、地域のニーズに合った貢献が果たせる人材の育成に努める。

3. 国際ネットワークをいかした国際協力活動に取り組もう

国内外における様々な課題に対応するため、半世紀にわたって築いたネットワークを活用して国際協力活動を推進し社会に貢献していく。

地域で活躍するためのリーダーシップ能力の向上

～IYEO(組織)を知り、活動を通して新たな自分を見い出すために～

都道府県 IYEO 役員研修では、それぞれの地域で活動を発案・展開していく上で必要な視点を養い、それを具体的に実践できる人材を育成することを目指す。また、その人材が IYEO 全体にとって新しい風を起こすことをねらう。

そのために、都道府県 IYEO の役員として必要な考え方やノウハウを身につけ、幅広いネットワークを構築して、参加者それぞれが、研修後に新たな一步を踏み出せるようにする。

IYEO は平成 26 年度の活動方針として、上記の「社会でリーダーシップを発揮できる人材育成を目指して」を掲げている。そこで今年の役員研修では、都道府県 IYEO 役員一人一人が、この活動方針を理解し、多世代で活躍する IYEO だからこそ実践できる活動の可能性を知る。そして、自分の強みやチームの特徴を理解し、リーダーシップを発揮して地域で活躍するためのスキルを向上することで、各地域での組織力向上を図ることをねらう。

<研修の流れ>

- 1 全体会～IYEO についての理解を深める、IYEO の可能性を知る
(IYEO という全国規模の組織を知る、活動の目的を知る、自分の力を知る)
- 2 分科会～実際に IYEO の運営を想定した具体的スキルを学ぶ(実践力)
- 3 振り返り(あなたはどんな活動を地元の IYEO で展開したいか?)

<全体会 >

IYEO の組織、概要及び特徴について学ぶとともに、IYEO だからこそ実現できる活動の可能性を考える。

- ・ IYEO について理解を深める
 - IYEO クイズ
 - 団体の特徴について考える
 - 全国レベルの組織で活動すること
 - 役員の役割とやること
- ・ IYEO だからこそ実現できること。可能性を知る(基礎編)
 - 地域で実現したいこと
 - ボランティアの意味と意義を理解する

<分科会 >

A. 地域の才能発掘～潜在会員を活動運営に巻き込むために～

事業参加後、壮行会や報告会以来一度も顔を出していない会員、育児や引っ越し等で IYEO の活動から離れている会員など、地域に隠れた優れた人材が沢山いる。そんな会員が活動に参加するためにはどのようなアプローチが必要か。

なぜ人が集まらないのか、どうしたら人が増えるのかを考え、地方の活動を支える人材に積極的にかかわってもらうための広報のノウハウと会員への世代別アプローチ方法等について学ぶ。

B. IYEO 活動に対するモチベーションアップ～また来たくなる会議・仕組みづくり～

受入れ実行委員会や都道府県での総会など会議を行うことも多い IYEO。スムーズな会議運営や会議への参加者がモチベーションを高めつつ活動できるような時間を作ることが、会員の継続的参加につながる。

そこで、スムーズな会議運営のノウハウを知ると共に、参加者のモチベーションを上げ、活動への積極的な参加を促すための人材育成の視点とその方法を学ぶ。

C. 想いを形にし、実現するための企画づくり

事業参加直後の青年達、地元に戻ってこれから地域を盛り上げたいと考えている会員が地域にいる。その人達のやる気を継続し、どのように事業を通じて得た想いを形にして、実現していくことができるのか。

企画書や予算書作成の基礎を学ぶと共に、実際に企画を実施・運営するにあたり運営側が気をつけなければならない安全管理の基礎やプロトコールについて学ぶ。